

## 令和5年度第1回人間文化研究機構経営協議会 議事概要

- 日 時： 令和5年6月14日（水） 14:00～16:06
- 場 所： 日本教育会館 中会議室
- 出席者： 井上、木部、栗本、小松、佐村、サーラ、田島、寺前、永田、西谷、広渡、藤岡、前川、丸山、宮崎、望月、山極、吉田、若尾、渡部の各委員
- 陪席者： 小泉、二ノ宮の各監事、陀安地球研副所長
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、本部事務局の総務課長、研究企画課長、財務課長、施設課長、その他関係職員

### ○ 概 要：

議事に先立ち、機構長から新たに就任した委員等の紹介があった。また、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認等があった。

### 議 題：

#### (議事概要)

##### (1) 令和4年度第6回議事概要について（資料1）

機構長から、令和4年度第6回経営協議会の議事概要について報告があった。

#### (審議事項)

##### (1) 令和4事業年度決算について（資料2）

宮崎理事から、資料2に基づき、令和4事業年度決算について説明があり、審議の結果、了承された。

##### (2) 令和6年度概算要求について（資料3）

宮崎理事から、資料3に基づき、令和6年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。

また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 要求の方針として、DHは本部が中心的に進めていくのか、各機関にも柱立てをして進めていくのかどちらの方針を検討しているのか。

⇒ DHは非常に大きなテーマであるため、このテーマの中に優先順位をつけた複数の柱立てをしながら、進めていきたい。

#### (報告事項)

##### (1) 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について（資料4）

栗本理事から、資料4に基づき、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 数値の列挙や抽象的な説明だけでなく具体的な説明をしていくべきではないか。

⇒ 数値での説明と記述による説明のバランスを考慮して報告書を作成していきたい。

##### (2) 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について（資料5）

栗本理事から、資料5に基づき、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について報告があった。

また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 文科省が意欲的な評価指標の再申請を募集するのはなぜか。

⇒ 中期目標・計画を策定した時点では、意欲的な評価指標の詳細が十分に明らかになっていなかったことへの配慮だと推測される。

- ・ 意欲的な評価指標を達成することの一番のメリットは何か。

⇒ 通常の評価指標よりも達成した際の評価が高くなるとされているが、達成できなかった際のデメリット等は不明である。

(3) 令和4年度監事監査報告について(資料6)

小泉監事、二ノ宮監事から、資料6に基づき、令和4年度監事監査について報告があった。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 概算要求を中長期的な視点に基づいて検討すべきという意見は、機構の内部で検討すべきということか。
- ⇒ 中長期的に機構内のディスカッションによって検討するという趣旨である。
- ・ テーマによってはクラウドファンディングによる資金調達も活用すべきではないか。

(4) 令和5年度監事監査計画について(資料7)

小泉監事、二ノ宮監事から、資料7に基づき、令和5年度監事監査計画について報告があった。

(5) 令和5事業年度における会計監査人の選任について(資料8)

宮崎理事から、資料8に基づき、令和5事業年度における会計監査人の選任について報告があった。

(3) 令和4年度活動報告について(資料9)

機構長及び宮崎理事から、資料9に基づき、令和4年度の主な活動について報告があった。また、各機関の長等から、令和4年度の各機関の主な活動について、報告があった。

以上